

令和8年度 全国学力・学習状況調査結果についてのお知らせ

令和8年度4月に中学校3年生を対象に実施した全国学力・学習状況調査の結果がまとまり、各校に送られてきたので報告します。

なお、今回のこの調査により測定できるのは学力の一部であり、学校における教育活動の一側面にすぎません。この調査をもとに、生徒一人ひとりの力をつけるよう、引き続き取り組んでまいります。

【調査内容】

○教科・学習調査

- ・国語、数学、英語

次の①、②を一体的に問う内容。

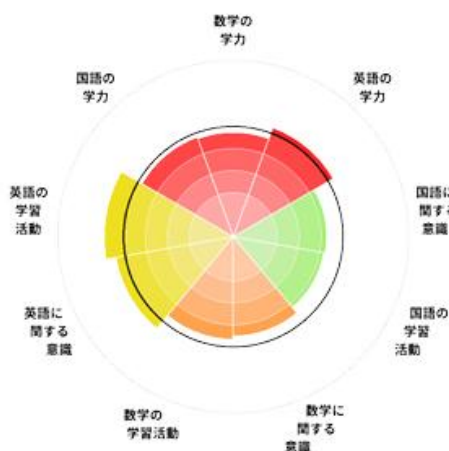
- ①身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

○学習環境や生活の調査

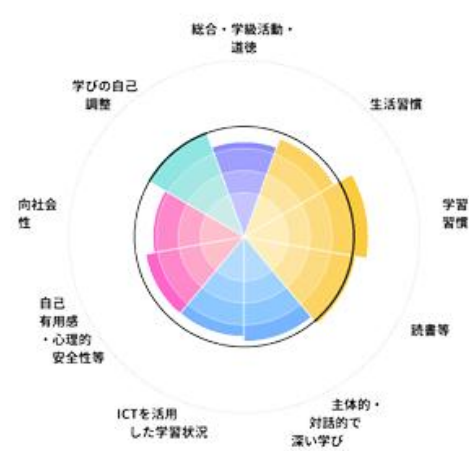
学習意欲、学習方法、生活の諸側面に関する内容についてアンケート形式にて出題

全国学力・学習状況調査結果チャート

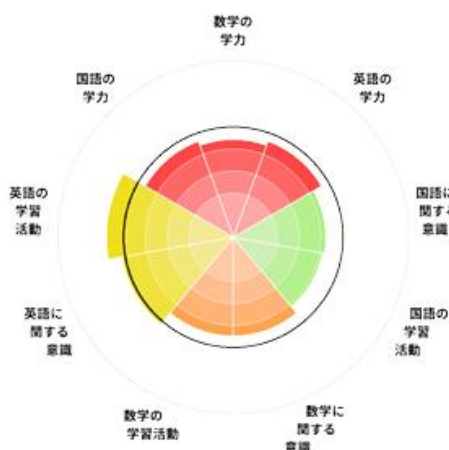
〔教科を中心とした学力・学習状況〕
(全国基準)



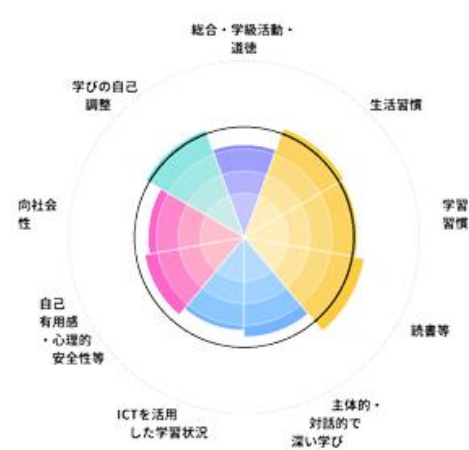
〔その他の学力・学習状況（学習習慣、自己有用感等）〕
(全国基準)



(神奈川県基準)



(神奈川県基準)



【国語】

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
横浜市立中田中学校	163	9.3 / 15	62	10.0	3.4
神奈川県（公立）	56,901	9.7 / 15	65	10.0	3.3
全国（公立）	841,873	9.6 / 15	63.9	10.0	3.3

【数学】

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
横浜市立中田中学校	163	8.5 / 16	53	9.0	4.2
神奈川県（公立）	56,944	9.5 / 16	59	10.0	4.4
全国（公立）	842,491	9.1 / 16	57.0	10.0	4.5

【英語】

平均正答数集計値

	生徒数	平均正答数	標準偏差
横浜市立中田中学校	160	3.8 / 7	2.1
神奈川県（公立）	56,122	4.1 / 7	2.1
全国（公立）	839,203	3.7 / 7	2.1

技能別平均正答数集計値

	聞くこと	読むこと・書くこと
横浜市立中田中学校	1.2 / 2	2.6 / 5
神奈川県（公立）	1.3 / 2	2.8 / 5
全国（公立）	1.2 / 2	2.5 / 5

【教科・学習の調査】

国語の結果

○良いと考えられる内容 △指導・改善が必要と考えられる内容

<知識・技能>

○語句の辞書的な意味を踏まえ、文脈上の意味を捉えることができるかどうかをみる問題において、全国平均をわずかに下回っているものの、よく解答できている。

△一方で、単語の類別について理解しているかどうかをみる問題を苦手としている生徒が多い。

<思考・判断・表現>

○文章全体を三つに分けて整理したものとして適切なものを選択する問題において、県および全国平均を上回っている。

△段落相互の関係を明確にし、文章の展開を工夫することができるかどうかをみる問題を苦手としている生徒が多い。

<全体>

思考・判断・表現を問われる問題では、県および全国平均を上回ることや同水準の正答率がみられるものの、知識・技能を問われる問題を苦手としている生徒が多い。

数学の結果

○良いと考えられる内容 △指導・改善が必要と考えられる内容

<知識・技能>

△データの活用領域の問題は、全国平均を大きく下回っている。

○与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができるかどうかは全国平均を上回っている。

<思考・判断・表現>

△筋道を立てて考え、証明することができるかどうかをみる問題において、全国平均を大きく下回っている。

○事柄の特徴を数学的な表現を用いて説明できている。

<全体>

どの分野も短答式で回答する問題の正答率は、全国平均と近い値となったが、記述式の正答率が全国平均を下回っており、思考・判断・表現に関する問題を苦手としている生徒が多い。

英語

○良いと考えられる内容 △指導・改善が必要と考えられる内容

<知識・技能>

△「聞くこと」の項目における、注文の場面での店員と客の会話を聞き、客が注文したものを選択する問題について、全国平均を下回っている。

○「書くこと」の項目における、与えられた情報に基づいて、留学生の昨日の出来事を説明する英文を書く問題について、全国平均を大きく上回っている。

<思考・判断・表現>

△「書くこと」の項目における、中学生になってからの思い出を1つ取り上げ、そこで体験したことと感想を書く問題について、全国平均を大きく下回っている。

○「読むこと」の項目における、物語を読み、物語全体を通した登場人物の気持ちの変化を表したものを選択する問題において、全国平均を上回っている。

<全体>

どの観点でもほとんどの問題の正答率は全国平均を上回っているが、神奈川県平均は下回っている。

特に、与えられた情報から読み解くことを得意としているが、一方で自分自身の経験などを表現することを苦手としている生徒が多い。

生活状況の結果

多くの項目で全国、神奈川県を上回っていたのは

「学校の勉強のことについて親と家族とどれくらい話すか」「学校に行くのが楽しい」「友達関係」「図書館の利用」「読書の時間」

全国、神奈川県を下回っていたのは

「インターネットでの情報収集」「発表活動への工夫」

【今後の取組】

- ・「国語」については苦手な分野が明確になったので、克服に向けた指導を取り入れて授業を展開していきます。
- ・「数学」については平均値を下回る項目が多かったので、単元の復習に力を入れ、「確かな学力を育む授業」を展開していきます。
- ・「英語」については「聞くこと」「書くこと」の向上を目指し、実際に英語を使う場面を意識した授業づくりに取り組んでいきます。
- ・生徒が主体的に取り組む場面を授業や行事の中に設定し「挑戦し、乗り越える」という体験から、自尊感情を高められるよう支援します。
- ・様々な観点から考えを深められる力を身につけられるようICT機器を使った授業の充実を目指します。
- ・対話的活動の場を積極的に取り入れ多様な「深い学び」を目指します。